



大阪+知的障害+地域+おもろい=創造

知の知の知の知

社会福祉法人大阪手をつなぐ育成会 社会政策研究所情報誌通算 3942 号 2017.10.7 発行

別日程の成人式開催 参加しにくい理由配慮 富士市 静岡新聞 2017年10月6日

富士市教育委員会は5日、来年1月に実施する成人式で、さまざまな理由から出席したくてもできない新成人に配慮し、通常と別日程の式典を開くことを明らかにした。対象は障害者や性的少数者（LGBT）、いじめの経験者など。同市教委によると、県内で同様の取り組みは聞いたことがなく、全国的にも珍しいという。

別日程開催は、障害のある新成人の保護者から「参加したいが、長時間座ることができない」と相談を受けたのがきっかけ。市教委社会教育課で調査したところ、市内の県立富士特別支援学校の卒業生で成人式に出席したのは、去年は24人のうち4人、今年は25人のうち2人と極めて少ないことが分かった。対応を検討する過程で、スーツや晴れ着姿での参加に違和感を持つLGBTや、同級生と会いたくないいじめ経験者らへの配慮も必要と判断した。

来年は1月7日に同市のロゼシアターで実施する通常の成人式とは別に、同14日に市教育プラザで別日程開催する。式典は長時間参加が困難な障害者のため、20分程度のコンパクトな内容に抑える予定。同課は「全ての新成人に祝意を伝えたいと計画した。一人でも多く参加してもらえれば」としている。

触って感じて「奈良」 - 「心」感覚展」きょう開幕／国文祭・障文祭なら2017

奈良新聞 2017年10月6日
作品を触って奈良を感じようとする訪問者ら=5日、奈良市登大路町の県文化会館



障害のある人にも奈良の魅力を感じてもらえる展覧会「体感する奈良!“心”感覚展」が、きょう6日から奈良市登大路町の県文化会館で始まる。大淀町文化会館での実施に続く第2弾。展覧会県内で一体開催中の「第32回国民文化祭・なら2017」「第17回全国障害者芸術・文化祭なら大会」の一環で、5日は報道関係者に展示が公開された。

県文化会館2階の展示室CDEが会場で、アイマスクを着用して入る「心」感覚動物園など約20のコーナーが設けられている。

「心」感覚動物園は手の感触だけで動物を当てる趣向で、足元も見えない中、はらはらどきどきが楽しめる。また体感する奈良のコーナーでは、大和茶や塗香を嗅いだり、橿原考古学研究所が製作した興福寺銅造仏頭のレプリカ、立体加工を施した木簡の模型などが並んでおり、触ることもできる。

会場には「ご自由におさわりください」と表示があり、ギネスに登録申請をしているという19万個のボトルキャップを使ったアート作品も触れる。

期間中の 8 日には本展覧会のアドバイザー、全盲で国立民族学博物館の広瀬浩二郎准教授の講演会「見えない世界を見る—ふかめて、のぼして、あたらしくなるカラダのふしぎ」が行われる。

開催は 15 日まで(ただし 10 日は休館)。午前 9 時から午後 6 時まで。入場無料。

衆院選 消費税について考える



NHK ニュース 2017 年 10 月 6 日
私たちが買い物をするたびに支払う消費税。安倍総理大臣は、消費税率を 10% に引き上げる際の増収分の使い道を変えることを表明し、衆議院を解散しました。これに対して野党側は、今回の選挙戦で消費税率 10% への引き上げに反対する姿勢を鮮明にしています。

もともと消費税は何に使われる予定だったのか。そもそも、なぜ 10% に引き上げる必要があるのか。争点の 1

つになっている消費税について考えます。(経済部記者 後藤匡)

与野党のスタンスは

今月 10 日に公示される衆議院選挙。各政党の公約が出そろいつつあります。消費税のスタンスは大きく 2 つに分かれています。

与党は、2019 年 10 月に予定どおり消費税率を 10% に引き上げたうえで、消費税の使い道を見直し、医療や年金・介護だけでなく、幼児教育や高等教育の無償化などにも充てるとしています。

それに対して野党側は、消費税率の 10% への引き上げを凍結すべきだ、などと主張していて、使い道の変更以前に、税率の引き上げそのものの是非を巡っても論戦が交わされる見通しです。

そもそもなぜ 10% なのか

消費税率の 10% の引き上げは、2012 年に、当時の民主党政権のもと、民主・自民・公明の 3 党が合意した「税と社会保障の一体改革」で決まりました。

高齢化による社会保障費の膨張に対応できず、借金で財源を賄っている状況を改善し、持続可能な社会保障制度にしていくためです。このため、消費税率を引き上げる際の増収分は、全額、社会保障に使うことになっていました。

その後成立した消費税率引き上げ法では、2014 年 4 月に 5% から 8% に、2015 年 10 月に 10% に引き上げることが明記され、これに沿って消費税率は 2014 年 4 月、8% に引き上げられました。ところが、その直後から個人消費が落ち込んで景気が冷え込み、政府は 2 度にわたって 10% への引き上げを延期。現在は、2019 年 10 月に引き上げることが予定されています。

与党側の主張は…

消費税率を 8% から 10% に引き上げた場合、およそ 5 兆 6000 億円の増収が見込まれています。

使い道は次のように決まっていた。8 割に当たる 4 兆円程度を、社会保障費を賄うた



めに赤字国債を発行しているのを抑える、つまり、借金を減らすために使い、残りの1兆円程度を所得の低い高齢者への給付金などの社会保障の充実に回す計画でした。借金返済に回す分と社会保障の充実に充てる分の比率は4：1でした。

安倍総理大臣はこの比率をおおむね半々に見直して、社会保障の充実への配分を増やし、看板政策の「人づくり革命」の実現に向けて、2兆円規模の財源を確保しようというのです。そして、増やした分は、所得の低い家庭の子どもに限定した大学などの高等教育の無償化に向け、返済のいらぬ給付型奨学金や授業料の減免を拡充する方針です。

また、幼児教育でも、3歳から5歳まではすべての子どもを対象に、0歳から2歳までは所得が低い家庭の子どもに限って無償化することなどを加える方針です。



無償化の恩恵は誰に

では、幼稚園や保育園などの無償化が実現した場合、どういった人たちに恩恵が及ぶのでしょうか。

ここでは3歳から5歳の子どもが1人いる場合を例に見てみます。自治体の認可を受けた「認可保育所」と「認定こども園」の保育料は、保護者の所得水準によって国が上限を定め、自治

体はその範囲内で保育料を決めます。

認可保育所と認定こども園の保育料について、政府は、すでに平成26年度から段階的に無償化を進めています。今年度で見ると、生活保護世帯や、市町村民税が非課税となっている、ひとり親世帯などは、保育料が無料になっています。

保育園の場合、完全無償化で新たに恩恵を受けるのは、それ以外の世帯で、高所得の世帯も含まれます。国の基準では、年収が1130万円以上の世帯では、3歳以上の子どもを認可保育園に預けた場合、1か月の保育料は10万1000円。これがすべて無償化されると、年間で120万円を超える負担の軽減になります。

幼児教育の無償化は、少子高齢化に歯止めがかからないなか、子育て世帯の負担軽減を図るといふ点では、前向きな政策だという指摘もあります。ただ、日本の財政状況が逼迫しているなかで、一律の無償化が必要かどうかは、議論の余地があるかも知れません。

高齢者の医療費などでは、所得の高い人にはそれ相応の負担をしてもらうという考え方で見直しが進んでいます。消費税の使い道を変更し、借金の返済に回す分を減らすことは、ツケを先送りすることとイコールです。

そして、それを負担するのは実は、今の子ども世代になります。

野党側の主張は…

消費増税を前提に使い道の変更を訴える与党。これに対して野党の各党は多くが消費税率の10%引き上げの凍結や阻止を訴えています。

消費税率を5%から8%に引き上げた際には、その直後から増税前の駆け込み需要に伴う反動減で、個人消費が落ち込んで景気が冷え込んだことなどを踏まえ、今、10%に引き上げれば、経済に悪影響が出るなどとしています。

では、消費税率の税率を引き上げないならば、予算を切り詰めるか、別の形で増税することなどが必要になります。



そこはどうするのでしょうか。

野党各党の公約に目を通すと、議員報酬・議員定数の削減、国家公務員の人件費・人員削減による経費の削減。消費者に負担を求めるのではなく、大企業の法人実効税率の引き上げや、富裕層を対象に所得税・相続税の最高税率を引き上げ、対応するべきだ、などと、さまざまな案を挙げています。

ただ、実際に実行できるかどうか、具体的な説明がない主張もあります。実現できなければ、借金頼みの財政運営がより強まる可能性もあります。



選挙で考えたい財政の行方

消費税の使い道の変更や、税率の10%への引き上げそのものは是非が、選挙のテーマになっていますが、与野党の主張に共通しているのは、財政健全化に対する具体的な説明が見られない、という点です。

安倍総理大臣は、消費税の使い道を見直すことで、財政健全化の目標としてきた基礎的財政収支と呼ばれる指標

を、2020年度までに黒字化するのとは不可能になるとして、達成時期を先送りする意向を示しました。しかし、その先の財政再建の道筋は、はっきり示されていません。

野党各党の消費税率の10%引き上げの凍結、あるいは阻止という主張も、それに代わる納得のいく対案が示されているとはいえません。

日本の財政状況は、国と地方を合わせた借金が1000兆円を超え、先進国で最悪の水準です。さらに2025年には、団塊の世代と呼ばれる人たちが、全員75歳以上の後期高齢者になる時代を迎えます。

後期高齢者になると、1人当たりの医療・介護費が急増します。社会保障の給付は、2012年に109兆円程度でしたが、2025年には、およそ149兆にまで跳ね上がるという試算があります。

支え手になる働く現役世代が減少する一方、支えてもらう高齢者は着実に増えていくのが目に見えている。それが、今の若い人たちの将来不安にもつながっています。

こうした状況をどう乗り切っていくのか。今回の消費税をめぐる与野党の訴えの中で、具体論が示されることを期待したいと思います。

地域の見守り、アプリで参加 焼津市が県内初導入

静岡新聞 2017年10月6日



認知症高齢者らの見守りシステムに導入する専用ステッカー（右）。専用アプリ（左）には行方不明者の情報が通知される（画面はサンプル）

事前登録情報の協定書にサインする中野市長（左）と伊藤署長＝焼津市役所

認知症高齢者の徘徊（はいかい）による行方不明者らを検索するため、

焼津市は16日、緊急連絡転送システム「おでかけ見守りネットワーク」（通称・おみね輪プロジェクト）を始める。事前に登録した認知症高齢者が行方不明になった場合、市民や企業に情報を通知。発見者が家族と直接連絡を取り合い、高齢者の早期発見と保護につなげる。



システムは、2016年度に厚生労働省の介護技術に関する事業で開発された「みまも

りあいステッカー」とアプリを県内で初めて導入して実現した。全国では山梨県笛吹市、東京都八王子市などに続いて7市目。市は登録費（2千円）とステッカー利用料（月額300円）を全額助成して普及を図る。

対象は在宅の認知症高齢者と障害者。市民らがアプリをスマートフォンにダウンロード（無料）しておく、行方不明者の顔写真や身体的特徴などが配信される。登録した高齢者の服や所持品にステッカーが貼り付けられていて、発見者は専用のフリーダイヤルでステッカーに記されたID番号を入力。捜索中の家族に電話がつながる仕組みで、独自技術により発見者の電話番号は通知されず、個人情報保護されているのが特徴という。

システム導入を前に、市は5日、焼津署と登録情報を共有する協定を締結し、中野弘道市長と伊藤悟署長がサインした。中野市長は「増加傾向にある認知症高齢者を見張るのではなく、見守る形で進めたい」と述べた。

車いす女性、50分間スズメバチに刺され死亡

産経新聞 2017年10月6日

愛媛県大洲市長浜町で9月、電動車いすの女性（87）がデイサービスの男性職員に付き添われ帰宅途中、スズメバチに約50分間にわたり刺され、死亡していたことが6日、市消防本部などへの取材で分かった。ハチが多く、付き添いの職員は救助できなかった。

市消防によると、9月11日午後4時ごろ、女性がデイサービス施設の送迎車を降り、職員に付き添われて自宅に戻る途中スズメバチに襲われた。職員は女性から離れた場所から携帯電話で施設に連絡。女性を助けようとしたが、大量のスズメバチがおり、近づけなかったという。同45分ごろ、ハチが減ったため、消防の救助隊が搬送したが、女性は死亡した。

【宇都宮・障害者施設傷害】聴取当日、資料を廃棄 「LINE」履歴削除指示、栃木県警OB

下野新聞 2017年10月6日

宇都宮市西刑部町の知的障害者支援施設「ピ・ブライト」であった傷害事件で、内部資料を廃棄したとして証拠隠滅容疑

で県警に逮捕された同施設を運営する社会福祉法人「瑞宝会」職員で県警OBの同市陽南2丁目、手塚通（てづかとおる）容疑者（69）ら3容疑者が、宇都宮南署員が4月に同施設で任意の事情聴取を行った当日に資料を廃棄していたことが5日、捜査関係者への取材で分かった。県警は捜査を恐れて証拠隠滅を図った可能性もあるとみて調べている。

3容疑者の逮捕容疑は共謀し4月15日にあった傷害事件の証拠と認められる文書を同18日ごろ、施設内で廃棄した疑い。捜査関係者によると、入所者男性（28）に大げがをさせたとして傷害罪で起訴された同市石井町、同法人職員松本亜希子（まつもとあきこ）被告（25）らの暴行を目撃した職員の報告書などを処分したという。

捜査関係者と同法人によると、3容疑者は傷害事件があった4月15日の翌16日に内部

自治体のハチ駆除対応例

京都市	原則、個人宅のスズメバチの巣のみを市の委託業者が無料で駆除
神戸市	「ハチ相談ダイヤル」開設。原則、個人宅のスズメバチとミツバチの巣について市の委託業者が無料で駆除
奈良県天理市	スズメバチとミツバチの巣の駆除を市の登録駆除業者に依頼。駆除した市民（個人）の申請により、駆除費用を補助
大阪府和泉市	駆除用防護服の無料貸し出し、薬剤を配布
京都府京田辺市	駆除用防護服の無料貸し出し、駆除スプレー1缶を配布
大阪府河内長野市、京都府福知山市など	駆除用防護服の無料貸し出し



※各自治体への取材をもとに作成

調査を開始。17日に松本被告の聞き取りを行い暴行の事実を把握。同日中に松本被告から反省文の提出を受けたという。



送検される手塚通容疑者＝5日午前8時10分、鹿沼署（画像は一部加工しています）

その後、男性の家族から相談された署員が18日、施設を訪れ手塚容疑者が立ち会い防犯カメラの映像などを確認した。事件前後の映像が残っておらず署員が「隠蔽（いんぺい）じゃないか」と指摘。同日、手塚容疑者が職員に資料の処分を指示したという。

また、手塚容疑者は宇都宮南署の任意聴取に「入所者同士のけんかだった」と説明。職員には無料通信アプリ「LINE（ライン）」の事件に関する会話履歴を削除するよう指示もしていたとみられる。

県警は5日、証拠隠滅容疑で手塚容疑者と大田原市末広3丁目、同法人職員斎藤博之（さいとうひろゆき）（58）と、宇都宮市南大通り2丁目、傷害事件当時の同施設長斎藤健輔（さいとうけんすけ）（56）の3容疑者を送検した。手塚、斎藤博両容疑者は警部補で県警退職後、同法人の内部調査を担う部署に所属していた。

<仙台国際ホテル暴行>障害者女性 被害申し立て 河北新報 2017年10月6日

仙台市青葉区の仙台国際ホテルの洋食部門に勤務する40代の男性料理長ら3人から暴行を受けたとして、宮城野区と同ホテル従業員鎌田あゆみさん（21）＝休職中＝が6日、仙台中央署を訪れ、口頭で被害を申し立てた。同署は今後、関係者から事情を聴く方針。

鎌田さんによると、フレンチレストラン「セラ」に勤務していた2016年7～12月、調理場で料理長から「息が合わない」と左頬を右手で殴られ、鼻血が出るなどした。今年1月2日にも料理長から腰付近を蹴られ、調理場で転倒したという。

40代の男性従業員からは「食材を取ってくるのが遅い」としかられ、顔や首をわしづかみにされた。20代の元従業員の男性からはガス台近くで無理やり頭を押さえつけられ、頭髪を焼かれたという。

暴行被害を申し立てるため、仙台中央署を訪れる鎌田さん＝6日午前10時ごろ

ホテルによると、鎌田さんから「料理長に暴力を振るわれた」との訴えが1月2日にあり、同日中に母親（42）を交えて面談。ホテル側は料理長が膝で突き飛ばした事実を認め、謝罪した。

ホテル側は河北新報社の取材に「社内調査を尽くしたが、1月2日以外の事実は一切ない」と話した。

鎌田さんは2016年4月に同ホテルに正社員として採用され、同7月ごろにセラに配属された。生まれつき両脚にまひがあり、障害等級は4級。



過労で「心の病」若年層に多く 女性は20代の自殺最多 平成29年版過労死白書

産経新聞 2017年10月6日

平成22年1月～27年3月までの約5年間に、過労による心の病（精神障害）で労災と認定された労働者の割合が30代以下の若年層で高かったことが、厚生労働省が6日に公表した「過労死等防止対策白書」で分かった。心の病から自殺に至った事例は男性で40代、女性で29歳以下に多かった。

調査は全国の労働局や労働基準監督署に保管されている脳・心臓疾患と精神障害による労災調査資料を元に、労働安全衛生総合研究所が分析した。

白書によると、精神障害の労災認定は「業務による強い心理的負荷」を要件とし、「3カ

月連続で残業月100時間以上」などと例示。男性の発症時の年齢では「30～39歳」が最も多く、雇用者100万人当たりの事例数では12・4件。女性では「29歳以下」と「30～39歳」で7・7件と最も多かった。

脳・心臓疾患で労災認定された人を世代別でみると、50代が100万人当たり11・2人で最多。業種別では漁業（100万人当たり38・4人）▽運輸業（同28・3人）▽建設業（同7・9人）一の順だった。

一方、精神障害による労災は漁業（同16・4人）▽情報通信業（同13・5人）▽運輸業（同13人）一の順。要因別では1カ月160時間を超えるような極度の長時間労働（122件）や、労災ラインとされる80時間以上の時間外労働（143件）など長時間労働に起因するものが目立った。

漁業が脳・心臓疾患と精神障害の両方で最多となったことについて、厚労省は「漁は長時間労働になりがちで、従事者の高齢化が進んでいることも要因と考えられる」と分析している。

白書は昨年初めて作成された。昨年9月には電通の新入社員、高橋まつりさん＝当時（24）＝が過労死と認定されており、白書はこの事案にも触れ、政府の取り組みを紹介した。

祝100回 京大寄席おいでやす...左京で7、8日 読売新聞 2017年10月06日

今年で創部50年を迎えた京都大落語研究会が7、8両日午後1時から、左京区の京都教育文化センターで「第100回記念京大寄席」を開催する。OBや部員ら約30人が落語や漫才を披露。部員らは「50年を通過点に自由な発想で笑いを届ける」と張り切っている。

1968年4月、7、8人でスタート。初顔合わせは京大近くの喫茶店「進々堂」で、2か月後には第1回「京大寄席」を法経済学部の大教室で開いた。部室がない時代は熊野寮談話室で練習。指導者がいなかったため、桂枝雀さんや桂ざこばさんに直接、頼み込んで技術を教わった。

部員は男女34人。サークル棟の地下1階に高座を設け、師弟制で批評し合い、技術を高める伝統を貫く。上方落語協会の笑福亭たまさん、東京の落語協会の入船亭遊京さんを輩出。98年に初めて誕生した留学生部員はこれまでにオランダやタイなど7か国計9人となり、日本の笑いを学んだ。

69年4月に始めた福祉施設などへの慰問も継続。障害のある子どもに教える活動も続け、部員は「楽しんでくれる姿を見るとやりがいを感じる」と話す。

理学部3年の児藤鑑部長（20）は「お客さんを楽しませたい一心でお待ちしています」と意気込む。定員360人。木戸銭100円。問い合わせはメール(kyoto.ochiken@gmail.com)。



記念の「京大寄席」に向け、稽古に励む部員（左京区で）

子どもの貧困に目配りを 門真に住民ネット発足 大阪日日新聞 2017年10月6日

子どもの貧困対策の一環として、大阪府門真市は住民が網の目方式で目を配る「子どもの未来応援ネットワーク」事業を発足させた。そのキックオフイベントが同市内であり、国の有識者会議委員で、同市出身でもある大阪府立大の山野則子教授（子ども家庭福祉）が「子どもを勇気づけることで自己肯定感を育て」と呼び掛けた。

同市は市内に六つある中学校区単位でそれぞれ「応援団員」を募る。人口の0・5%に当たる計600人が教職員OBらでつくる「推進員」と連携する。府のモデル事業。

講演で山野教授は、一昨年に川崎市で男子中学生が集団暴行されて死亡した「川崎事件」

を例に問題提起。生徒は母子家庭で母親が夜間に働いており、ゲームセンターに出入りする中で加害少年たちと出会ったと指摘。「教職員や一部の専門家で課題を解決する時代じゃない。誰かが声を上げない限り、後で後悔しても検証できない」と話した。



『門真で大人になってよかった』と思える大人をたくさんくっつけてほしい」と話す山野教授

また、母子家庭の4割の所持が200万円未満とし、「親が子育てをサボっているのではなく、背景を理解してほしい」と解説。就学援助や児童扶養手当などを受けられるのは周囲の温かい視線だ」と訴えた。

「生きづらいと思ったら 親子で発達障害でした」(メディアファクトリーのコミックエッセイ)

モンズー (著)

【月間180万PV! アメブロ総合第1位!】

幼いころから生きづらさを抱えていた私が生んだ子は、二人とも発達障害グレーゾーンでした。

未来が怖い、人目が怖い、集団が怖い。

絶望と希望を繰り返しながら、それでもなんとか前向きに生きていく姿に、共感と応援の声!

アメブロで総合1位を獲得した実録コミックエッセイが、未発表秘話を100ページ以上収録し、発売です。



【主な内容】

1 うちのこ、なんかよその子と違う? 2 これって虐待なの? 3 私も発達障害だったの? 4 この子の母でありたい 5 思い当たる過去 6 ようやく出会えた理解者 7 そして次男誕生 8 白黒つけたらスッキリした 9 無理も妥協もしない 10 次男療育スタート 11 我が家の対処法 12 長男の療育先探し 13 未来は怖いけど 14 今日がなくて明日はない

「生きづらいと思ったら 親子で発達障害でした 入園編」(メディアファクトリーのコミックエッセイ)

モンズー (著)

幼い頃から生きづらさを抱えていた私が生んだ子は、二人とも発達障害グレーゾーンでした。

長男の幼稚園入園、そして突きつけられる進路の問題。

立ち上がる壁を、それでも親子で一緒に乗り越える――。

圧倒的な共感と応援の声でロングセラーとなった前作から約1年、今作では、発達障害の子どもを持つ家庭の多くが直面する「進路」をテーマに、困難と希望、そのすべてを描きます。

子育ての勇気が静かに強く湧いてくるノンフィクションコミックエッセイ、待望の続編。



月刊情報誌「太陽の子」、隔月本人新聞「青空新聞」、社内誌「つなぐちゃんベクトル」、ネット情報「たまにブログ」も
大阪市天王寺区生玉前町5-33 社会福祉法人大阪手をつなぐ育成会 社会政策研究所発行